

全日本選手権大会の実施要綱および競技ルールについて

2020年10月 競技委員会

■ 全日本選手権実施要綱について

2021年の全日本選手権は、2020年第37回全日本武術太極拳選手権大会中止に伴う特別措置を適用して実施する。2020年都道府県予選を自粛した都道府県については、例年と選抜条件が異なるなど、例年といくつか変更点があるため、各専門委員会と協議のうえ制作した開催要綱を別紙にて提案する。

2020年10月 審判委員会

■ 全日本選手権の新ルール採用延期

2021年の全日本選手権および当該大会に向けた2020年都道府県予選で、新ルールを採用して大会を実施することが決定されていた。しかし現在、新型コロナウイルス感染症の影響によって予選が実施できないところがあり、選手は新ルールでの大会経験がないまま、2021年の全日本選手権に参加することになる。

これは選手や指導員にとって望ましい状況ではなく、予選が実施できない中、新ルールで全日本選手権を実施することは、選手・指導員・愛好者に不利益をもたらすことになる懸念される。

そこで、すでに決定していた2021年全日本選手権での新ルール採用を見合わせ、2022年以降に延期することを提案する。

これにより、選手は感染症の影響の中で新ルールに対応する負担を減らすことができ、十分な準備期間が得られると考える。

具体的にどのタイミングで、どのように新ルールを実施するかは、感染症の影響終息の状況を見て、連盟各部門と連携して改めて決定するものとする。

以上